



2018年12月6日

新型 Audi TT、欧州で受注開始

- よりシャープになったデザインを採用
- アウディドライブセレクトを標準装備
- 20周年を記念したリミテッドエディションを設定

2018年12月4日、インゴルシュタット：よりシャープでパワフル、さらに充実した装備。アウディは、アップグレードが施された Audi TT シリーズの受注を、欧州で12月4日より開始しました。初代 TT がデビューして20周年を迎える今年、アウディのコンパクトスポーツカーは、より緊張感のあるエクステリアデザイン、よりパワフルなエンジン、そして幅広い標準装備により、さらに魅力的なモデルへと進化を遂げました。また、Audi TT デビュー20周年を記念した“TT 20 years”リミテッドエディションは、その栄光の歴史に敬意を表して設定されたモデルです。

“TT 20 years”の生産台数は、999台に限定されています。この記念モデルは、初代 TT がデビューした1998年を思い起こす数々の専用装備を特徴としています。これらのディテールは、1995年の東京モーターショーで初公開された、Audi TTS ロードスター コンセプトスタディからヒントを得ています。シート、ドアパネル、センターコンソールには、モカシンプラウンのファインナッパレザーが採用される一方で、レザーの装飾ストリップや“パヌーカ”コントラストステッチは、当時東京モーターショーに展示されたコンセプトモデルのインテリアを現代的に解釈したものです。シリアルナンバーが刻印されたバッジに加え、ステアリングホイールとシフトレバーノブには“TT 20 years”エンブレムが装着され、インテリアにアクセントを追加しています。光沢メタルグレイの19インチアルミホイール、マトリクス OLED リヤランプ、サイドシルに設置された艶消しフォーリングスガ、エクステリアのハイライトとなっています。

Audi TT は、20年間にわたってドライビングプレジャーを徹底的に追求してきました。今回のアップデートでは、第3世代のスポーティなキャラクターにさらに磨きをかけています。アウディはこの新型 TT のために2種類の直噴ガソリンエンジンを用意しています。

新型 Audi TT のエクステリアデザインは、これまで以上に先進的でシャープになっています。シングルフレームグリルは立体的な造形となり、両サイドに設置されたエアインテークが、路面に低く構えた印象を生み出しています。リヤを見ると、水平なラインがこのコンパクトスポーツカーの幅広さを強調しています。オプションとして、LED ヘッドライトまたはダイナミックターンシグナルを備えたマトリクス LED ヘッドライトが用意されています。

オプションの S ライン エクステリアパッケージを選択すると、フロント、サイドシル、リヤに、印象的な専用コンポーネントが装着され、Audi TT のスポーティなキャラクターが強調されます。さらに、S ライン スポーツパッケージを注文すると、S スポーツシートが装備されると同時に、車高も10mm ローダウンされます。ボディカラーには、コスモスブルー、パルスオレンジ、ターボブルー（S ライン）の3つの新色が追加されています。ドライバー重視のインテリアに目を向けると、エアベントのインナーリングに、サテンオレンジ及びターボブルーの新色が用意されています。

新型 Audi TT には、ベースバージョンにも、アウディドライブセレクトが標準装備されています。ドライバーは、マルチファンクションステアリングホイールを使用して、すべてのインフォテインメント

及びボイスコントロール機能を操作することができます。ディスプレイは、2種類の異なるビューを選択可能なオーディオバーチャルコックピットに表示されます。さらに、全バージョンともに、スマートフォンをはじめとするモバイル機器を、照明付き USB ポートおよび Bluetooth 経由でクルマと接続することが可能です。

欧州でのデリバリーは、2019年の第1四半期から開始予定です。

Audi TTの詳細は、ウェブサイト (www.audi-mediacycenter.com/en/audi-tt-67) から入手可能です。

※本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版に基づくものです。

※日本への導入時期、仕様、価格は未定です。